

令和6年度（後期）学校教育アンケート分析結果

浜松市立犬居小学校

「ゆめに向かって がんばる子」

この学校教育目標の達成をめざし、今年度の教育活動を進めています。活動を振り返り、次年度の教育活動に生かすために、学校がめざす子供の姿に沿って質問を作成し、児童・保護者・教員に対してアンケート調査を行いました。アンケート結果から分かる、本年度の犬居小の児童の様子と次年度に向けた考察をお伝えします。

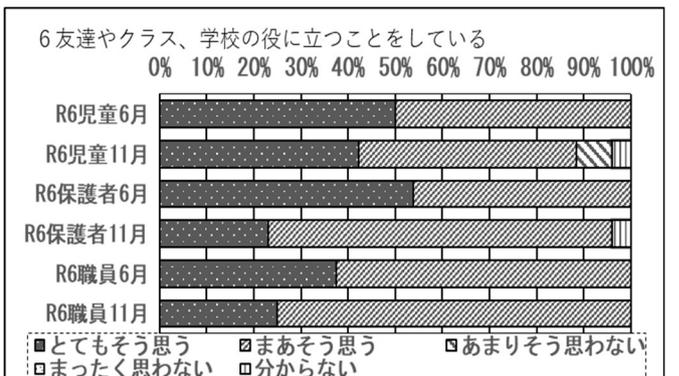
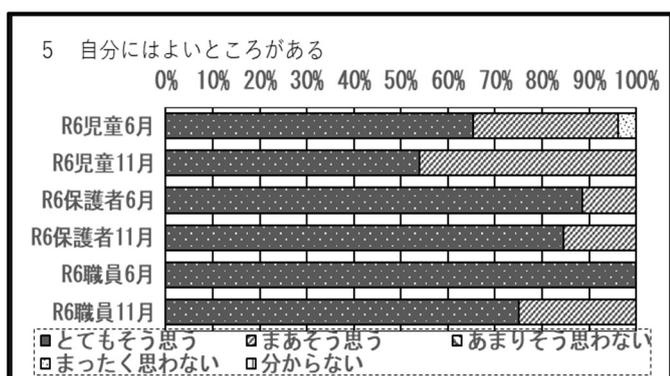
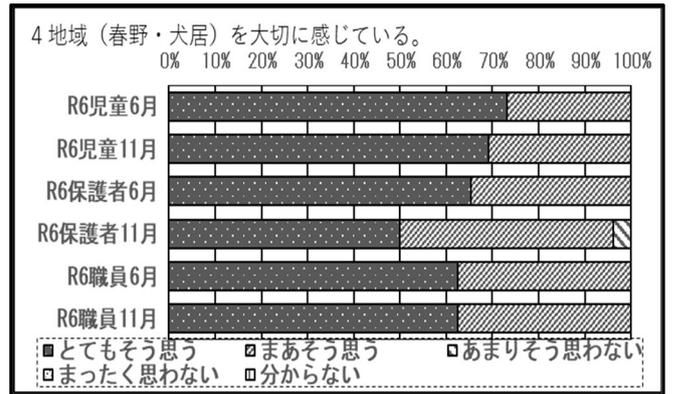
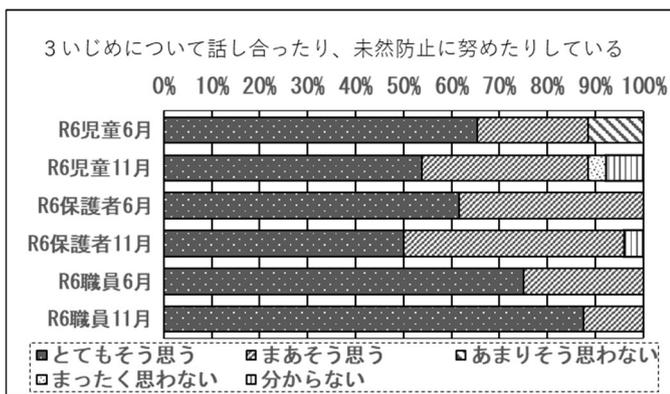
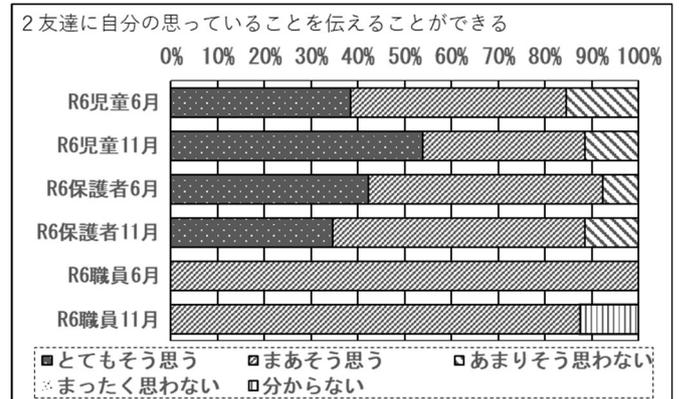
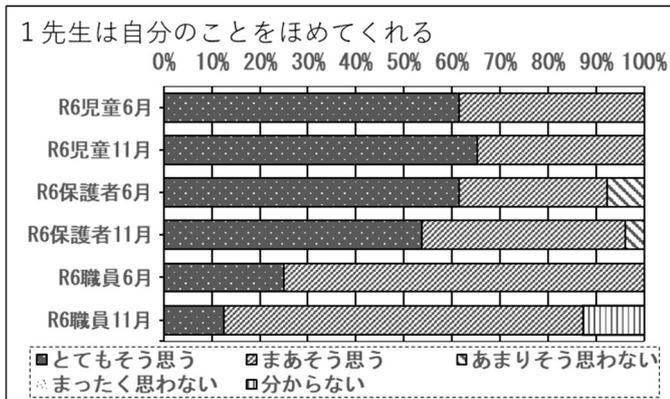
なお、今回、児童・保護者・職員からの回答の「とてもそう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が全て9割以上のものを太線枠で、8割未満があるものを破線枠で示してあります。

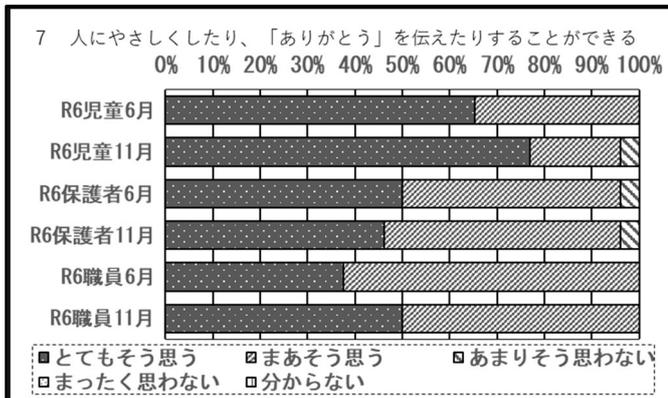
「やさしい子」



<夢と希望をもって生活し、自他の良さに気付き、相手の立場になって考えた言動ができる子供>

★★★★★ 「やさしい子」アンケート結果 ★★★★★





【アンケートより】

① 「4. 地域（春野・犬居）を大切に感じている。」 「5. 自分にはよいところがある」 「7. 人にやさしくしたり、ありがとうを伝えたりすることができる。」 の3項目については、肯定的な回答が9割を超えました。また、「1. 先生は自分のことをほめてくれる。」 「2. 友達と上手に関わることができる。」 の項目については、肯定的な回答は9割以上になりませんでした。児童の肯定的な回答は上昇しました。

② 「3. いじめについて話したり、未然防止に努めたりしている。」 「6. 友達やクラスの役に立つことをしている」 の項目については、否定的な回答や「分からない」の回答が見られます。

【考察】

① 本校では、昨年度以前から「全職員が全児童の担任」という意識のもとで子供たちと関わっています。また、全校で取り組んでいる「よい子見つけ」と合わせ、その子の良いところをできるだけ褒めたり認めたりして、良いあらわれや行動を価値付けることで、自己肯定感や自己有用感を高め、周囲への優しさにもつなげていきたいと考えています。これからも互いに受け入れあえる支持的土壌づくりを進めることで、子供たちが毎日楽しく安心して学校に通うことができるようにしていきます。

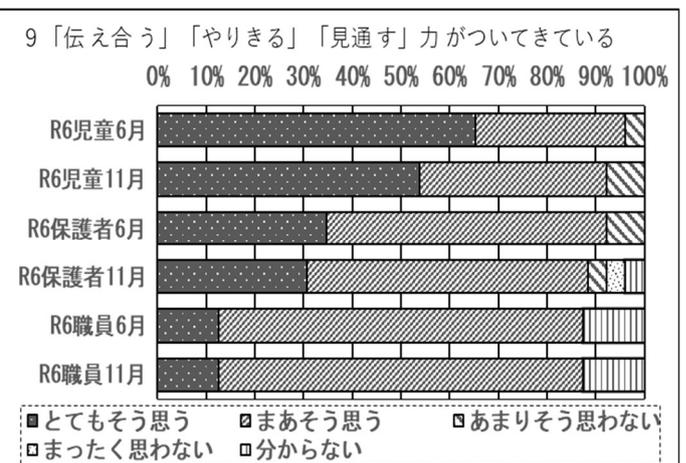
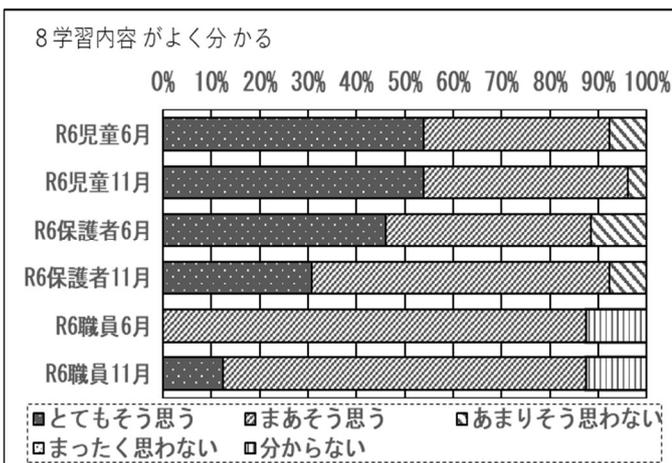
② いじめについての設問や自己有用感に関する設問で、否定的な回答や「わからない」の回答が見られたことを重く受け止めます。本校でも、昨年度から浜松市のいじめ対応や未然防止方針の改善に合わせて、シビアな目で見て細かいことまで気を付けて指導を行っています。優しい子が多く、相手に自分の本当の気持ちを伝えることにためらいを感じる子が多い犬居小の子供たちに合ったいじめ指導が必要なのだと考えます。また、自分たちの普段の活動を、ただ行うのではなく、きちんとその意味合いを理解した上で行うようにしていきます。

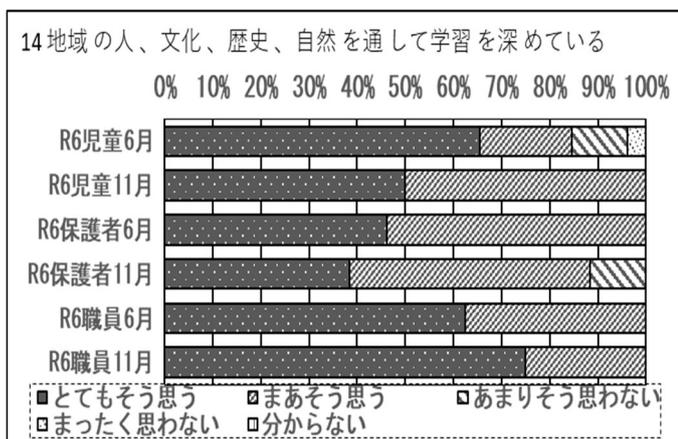
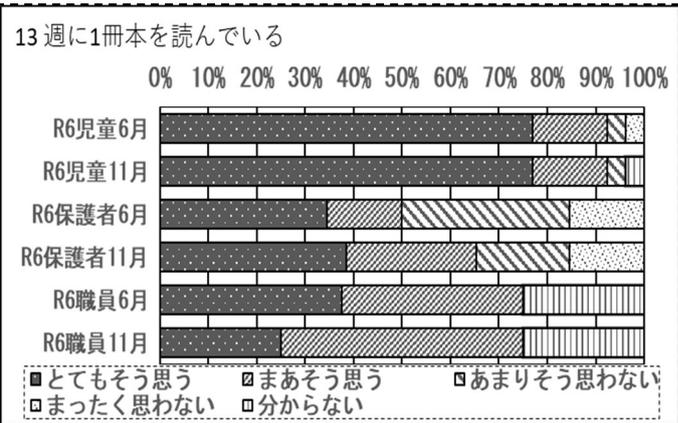
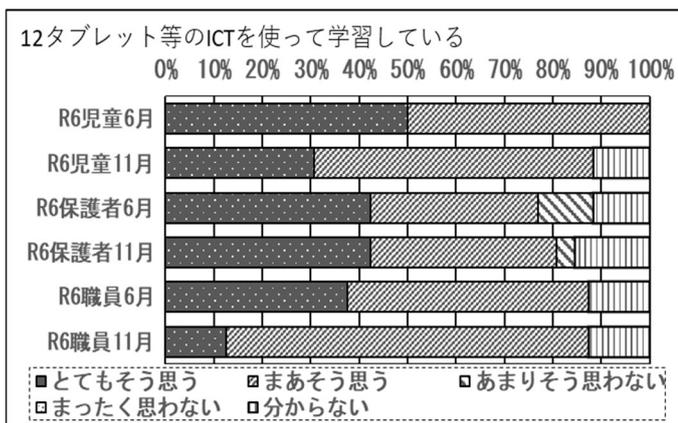
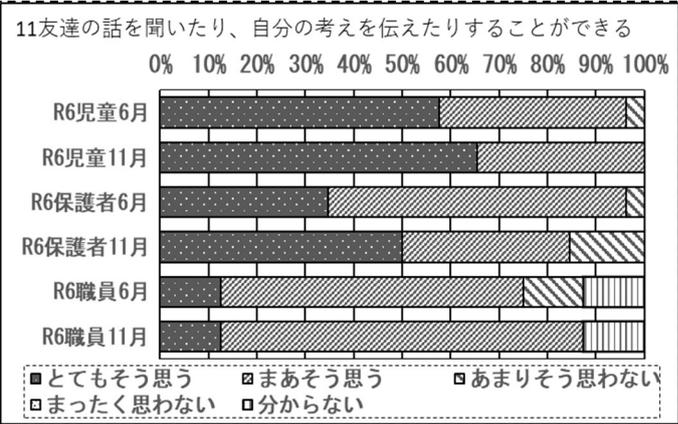
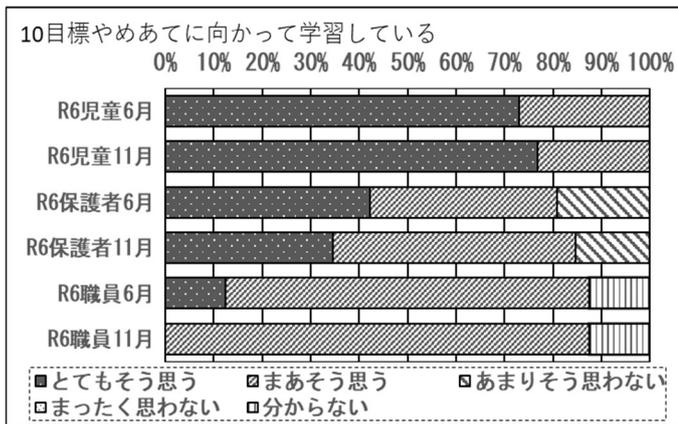
「かしこい子」



自分の課題に気付き、主体的・協働的に学び、学んだことを様々な場面で生かしていくことができる子供

★★★★★ 「かしこい子」 アンケート結果 ★★★★★





【アンケートより】

㊦ 設問8～14は、前期は80%未満の破線枠のものが多かったですが、改善されたものが多くありました。「8. 学習内容がよく分かる」「10. 目標やめあてに向かって学習している」については、肯定的な回答がやや上昇しました。

「11. 友達の話の聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができる」「14. 地域を通して学習を深めている」については、児童の回答は100%となっています。

㊧ 設問10～14については、児童と保護者との差が顕著な傾向は変わりません。「12. タブレット等のICTを使って学習している」については「わからない」の回答が目立ち、

「13. 本を読んでいる」については、保護者の肯定的な回答が増えましたが、未だ60%台となっています。

【考察】

㊦ 学習に対して手応えを感じている児童の割合が、以前にも増して高い割合にあります。小規模校の少人数だからこそこの結果ですが、授業の進め方や指導方法、児童に提示する教材・資料等、職員が日々工夫し手間をかけて準備をして授業づくりを行っていることの成果と考えます。今後も子供たちが満足感や達成感を味わい、学習を通して自分にどんな力が身に付いたのか分かるような授業づくりを行ってまいります。

㊧ 子供の意識と大人の目から見たあわれの差が大きいことに問題意識を感じます。特に設問12のICT活用は全国的に見ても浜松市が低かった項目です。有効に活用できる手立てや仕組みづくりが必要かと思えます。また、設問13読書状況に関しては、家庭でも読書をする動機付けを、学校と家庭と協力して行う必要があると思えます。前期のアンケートのまとめでもお伝えしましたが、活字を追う習慣は読む力を育むだけでなく、考える力や問題解決の力も高めていきます。子供たちの今後の人生にとって役立つことの多い大切な力となっていきます。

「たくましい子」

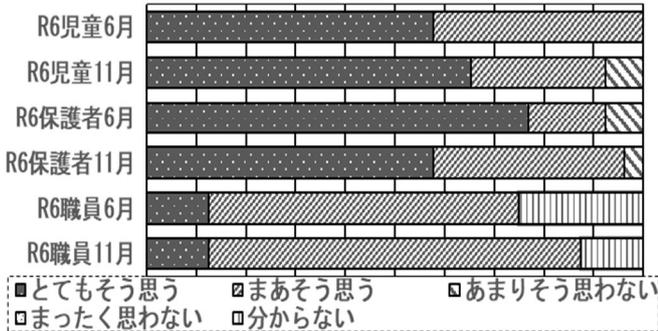


<自分の健康や体力、安全について理解すると共に、めあてをもって努力し、最後まであきらめずにやり抜く子供>

★★★★★「たくましい子」アンケート結果 ★★★★★

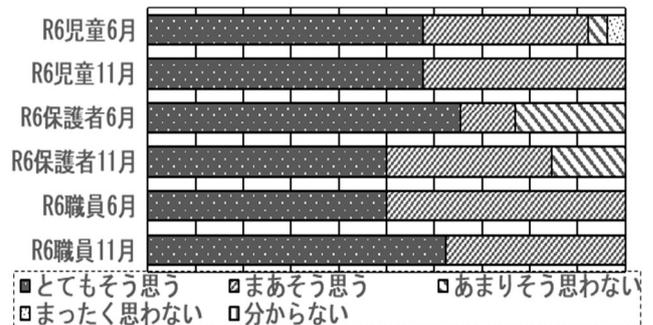
15 早寝、早起き、朝ご飯を行っている

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



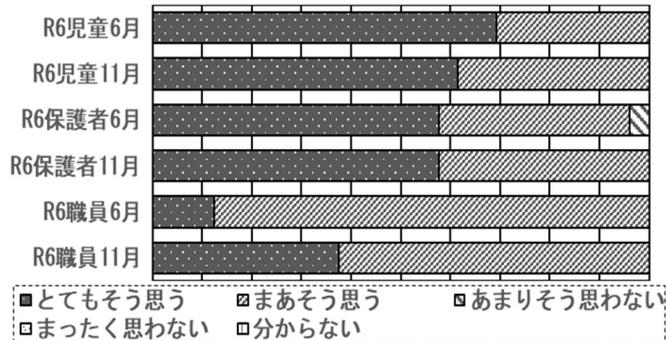
16 目標やめあてに向かって運動をしている

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



17 きまりを守り、安全に生活している

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



【アンケートより】

① 「17. きまりを守り、安全に生活する」については、肯定的な回答が9割を超えました。「16. 目標に向かって運動している。」については、保護者の肯定的な回答の割合が上昇しました。

② 「15. 早寝・早起き・朝ご飯を行っている」については前回同様、否定的回答があります。

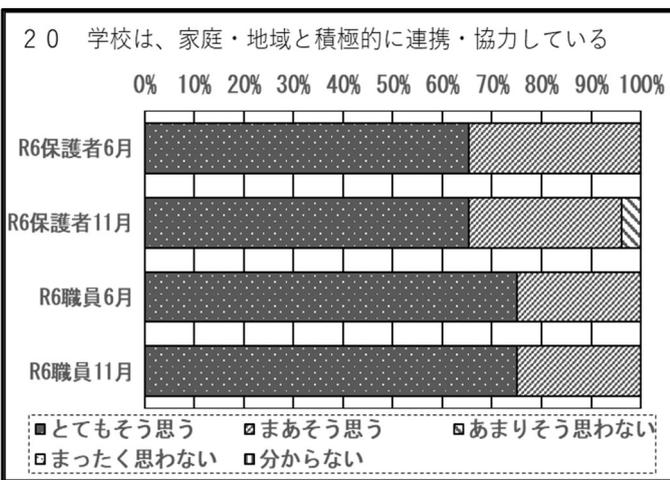
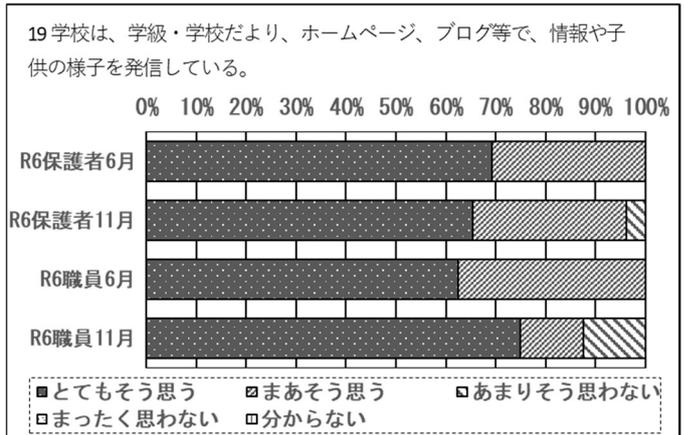
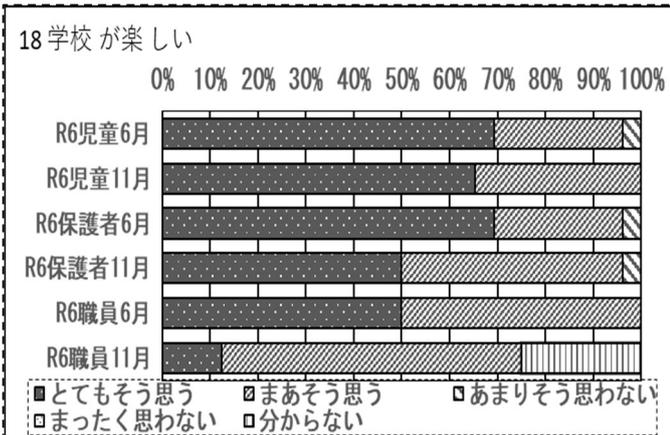
【考察】

① 運動に関して、子供たちはマラソンカードや縄跳びカードなどを使い、自分に合った目標を明確にし、毎日少しずつ頑張っています。前期には猛暑のため思い通り運動できない日がありましたが、後期に入って運動に適した日が続いたことで、子供たちの評価は100%になりました。昼休みに外で元気に体を動かして過ごす児童が増えたこともうれしく思います。山間地の子供たちは車で送り迎えしてもらうことが多いため、平野部に暮らす子供たちより体を動かす機会がどうしても少なくなってしまうがちです。体力や運動経験だけでなく、大人に頼らない自立心を養うという側面からも、安全を考慮した上で、できることを考えていきたいものです。

② 「15. 早寝・早起き・朝ご飯を行っている」については、今一度、ゲームや動画の視聴時間の見直しや、中高生の兄弟の生活時間と区別をつけることなど、御家庭で確認し合ってみてください。

◆その他

★★★★★ 「その他」 アンケート結果 ★★★★★



【アンケートから】

① 「18 学校が楽しい」の児童の肯定的回答が100%でした。また、「20 学校は家庭・地域と積極的に連携・協力している」については保護者、職員とも9割を超えました。

【考察】

② 「学校が楽しい」への児童の肯定的回答が100%だったことを、職員一同、何よりもうれしく感じています。また、情報発信や家庭との連携についても、肯定的な回答を多数いただきました。今後も、学級だより、学校だより、学校ホームページ、ブログ等の様々な媒体を通して、学校や児童の様子が分かる情報を提供してまいります。



総括

今回のアンケート結果については、肯定的な意見が9割以上のものが減ったものの、8割未満のものも大幅に減り、全体としては良い方向に変化していると言えます。

前期のアンケートの結果でも、子供たちは充実した学校生活を送っていることが分かりましたが、今回はそれが更に高まっています。子供たちが日々笑顔で過ごす様子からもそうしたことがうかがえます。また、充実して過ごしているだけでなく、子供たちができるようになったことが増えたり、精神的にも大人びてきていたり、自立が進み、教師の助けを求めなくなってきたことに、大きく成長していることを感じます。うれしい限りです。

これは、学校だけの力ではなく、子供たちを見守り励ましてくださる保護者や地域の方々の支えがあつてのことだと言えます。本校の教育活動への御理解、御協力に感謝申し上げます。

今後も「全職員が全児童の担任」という意識のもと、子供たち一人一人を大切に支援してまいります。

なお、前期のアンケートでも課題となった「自分の思いを伝える」ことや「学校の様子を保護者に伝える」ことに関しましては、一定の進歩はあったものの、今回のアンケートでも引き続き課題であることが分かりましたので、今年度の残りの教育活動や、来年度に向けての話合いの中で、改善できるように努めてまいります。

今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

保護者意見集約

- ・ お忙しい事は十分承知してますが、行事以外にも昼休みや掃除の様子などブログに書いてもらえたら普段の子供たちの様子も分かって嬉しいです。
- ひと昔前より、時代の流れなのか、学校とプライベートの線引きがはっきりしたような印象を受けていました。（「それは、学校では話し合えない」と、家庭や地域の実情を学校には持ち込んではいけない雰囲気を感じたこともありました。）しかし、先生と生徒や保護者、さらに学校と地域が信頼関係を築いていくためには、先生や学校側が、家庭や地域の実情を一步踏み込んで知る必要があるのではないかと考えていたところ、今年度は、まさに、そんな私の問題意識に答えてくれるかのように、先生方が、より深く子供たちや地域のことに関わってくださっていると実感しています。子どもは、先生方に、学校外の活動にも興味を持って応援してもらったことをとても喜び、それがやる気や自信につながっています。ただでさえ少なくなってしまった子供たちが、これからも引き続きアットホームな犬居小で見守ってもらえることを願っています。また、自分自身も、この地域に住まうものとして、我が子だけでなく、多くの子供たちの学びや成長を見守ることができればうれしいです。
- 今年の春まで、ひらがなも数字もほとんど分からなかったことを忘れてしまいそうになるくらい、入学してからこれまで、見違えるような成長をしました。親が言うだけでは挑戦しようとしなかったこと（鉄棒とか、右手で字を書くこととか）も先生の励ましや友達の存在でできるようになりました。また、幼稚園の頃より、交流できる人の数（大人も子供も）が増え、それだけをとってもとてもよい刺激になっていると感じます。毎度くどいようですが、とにかく今後の犬居小の急激な児童数減少がいつも気がかりです。犬居小だけでなく、春野全体、もう待たない状況ですね。「学校、保護者、地域の方々が垣根なく、この地域の将来を話し合う場があればいいのにな。」といつも思っています。
- 家族全員で犬居小が大好きで、とても素晴らしい教育環境と素晴らしい先生に囲まれ大変幸せな日々をおくらせて頂いております。感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、学校評価の数値やアンケート結果をもとに、職員で協議しています。次年度も、地域を担う子供たちのための教育課程を作成していきたいと考えています。学校アンケートへの御協力、ありがとうございました。